

もくじ

- てんぐのかく隠れみの

てんぐのかく隠れみの

げんさく 原作： にほん むかしばなし 日本の昔話

イラスト： ナナホシ

へんしゅう 編集： YellowBirdProject

むかしむかし、ある^{むら}村に、イタズラが^{だいす}大好きな
『ごんた』という男の子が、^{おとこ}母親と^こ二人で^{ははおや}住んで
いました。

その日^ひごんたは、^{いえ}家から^{たけづつ}竹筒を^{いっほん}一本^も持ち出して、
^{きんじょ}近所の^{こだか}小高い^{おか}丘に^{のぼ}登りました。

ごんたは^{おか}丘の^{うえ}上に^つ着くと、^{たけづつ}竹筒の^{そこ}底を^め目に^あ当てて、
^{あしもと}足元に^{ひろ}広がる^{むら}村を^み見^お下ろしました。

「うわあ、^み見える^み見える！^{むら}村の^{ようす}様子が^よすごく^よ良く
^み見えるぞ！^{たろう}あ、^{ふくろ}太郎の^{おこ}やつ、^{おこ}また^{おこ}お袋さんに^{おこ}怒られ
てやんの。あははは」

もちろんこの^{たけづつ}竹筒は、^{たけづつ}ただの^{たけづつ}竹筒。^{そこ}底に^{そこ}フタもして
あるので、^{けしき}景色など^み見えるわけがありません。
いったい^{かんが}ごんたは、^{かんが}なにを^{かんが}考えているのでしょうか。



5

「あ！山^{やま}の向^むこうに見^みえるのは、京^{きょう}の都^{みやこ}かな？
きれいだな〜」

ごんたが、竹筒^{たけづつ}を目^めに当^あてたまま辺^{あた}りを見^み渡^{わた}して
いると、突^{とつ}然^{ぜん}後^{うし}ろからだれかに声^{こえ}をかけられました。

「おいぼうず、たの^{たの}楽し^みそうだな。おれにも見^みせてくれ
よ」

ごんたはふ^ふかえ^{かえ}り返^{かえ}りましたが、そこにはだれもいませ
ん。

「あれ？おかしいな。たしかに声^{こえ}が聞^きこえたんだけ
ど・・・」

「どこを^み見^みている。ここだ、ここ」

